

	書名	著者	出版社	出版年	備考
1	いのちのあさがお	綾野まさる	ハート出版	2008	白血病で亡くなったコウスケくんは、朝顔の種をまいていました。骨髄バンクの提供を呼びかける。(小学生向き)
2	いのちのリレー	川久保美紀	ポプラ社	2005	末期がんと宣告されてからも教壇に立って、命の意味を問いかけて続けた教師のノンフィクション。
3	おかあさんはここにいるよ	柴 芳子	南方新社	1997	がんとたたかった若い母の日記。
4	子どものための「いのちの授業」	鈴木中人	致知出版	2019	小児がんの亡き娘が教えてくれたこと。
5	先生ががんになっちゃった(学校の保健室3)	宇津木聡史	星の環会	2017	小中学生向けに、がんについての知識をまとめた資料。
6	チャーリー・ブラウンなぜなんだい?	チャールズ・M・シュルツ	岩崎書店	1991	友だちが重い病気になったとき…。
7	天との通信	森脇佐和子	文芸社	2002	がん告知とは? 尊厳死とは? 父は死ぬ日も自分で決めた。24時間テレビドラマ原作。
8	はなちゃんのみそ汁	安武信吾	文藝春秋	2012	がんで逝った33歳の母が、5歳の娘に残したもの。
9	ゆたかな命のために	甲斐裕美	偕成社	1997	ボランティアとしてホスピスで出会った人たちを通して、生きることの意味を語る。
10	がんのひみつ	中川恵一	朝日新聞出版	2016	必須の知識を13×12センチのコンパクト本にまとめた。
11	ある日、お父さんお母さんががんになってしまったら	阿部まゆみ	ピラープレス	2016	親ががんになった子どもたちが、穏やかに安心して生活をするための道標となるよう、わかりやすく解説。
12	もしすべてのことに意味があるなら	鈴木美穂	ダイヤモンド社	2019	いろいろな場面で悩んでいる方を勇気づける言葉がいっぱい詰まった本。
13	校長先生、がんになる	小林豊茂	第三文明社	2018	健康診断でステージⅣの肺腺がんが見つかり、闘病を続けながらがん教育を推進。
14	葉っぱのフレディ	レオ・バスカーリア	童話屋	1999	春に生まれた葉っぱが葉っぱの仕事を終えて、冬に土へとかえっていくまでの物語。
15	このあとどうしちゃう	ヨシタケ シンスケ	ブロンズ新社	2016	しんだらどうなる? どうしたい? 生きている間に考えてみることを問いかける絵本。
16	くまのこうちょうせんせい	いもとようこ	金の星社	2005	命の授業を続けた実在の校長先生をモデルにした絵本。

